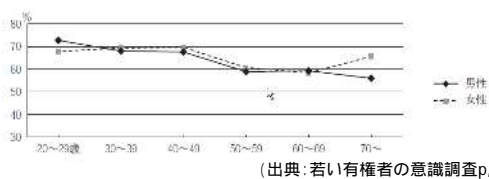


若年層有権者の投票率を上げる
 ~教育によって一票の価値を見出させる~

問題点

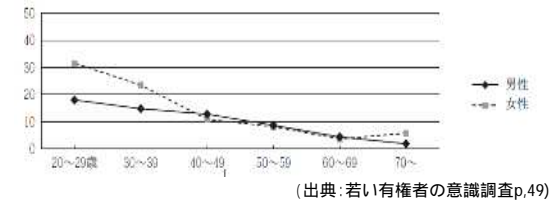
問題1：有権者が自らの一票の価値を理解していない

Q自分は政府のすることに対して、それを左右する力はない
 (「そう+どちらかといえばそう」思うと回答した人の割合)



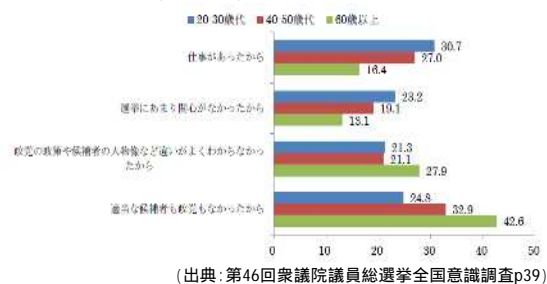
問題1：有権者が自らの一票の価値を理解していない

Q選挙では大勢の人が投票するのだから、自分一人くらい投票しなくてもかまわない(「そう+どちらかといえばそう」思うと回答した人の割合)



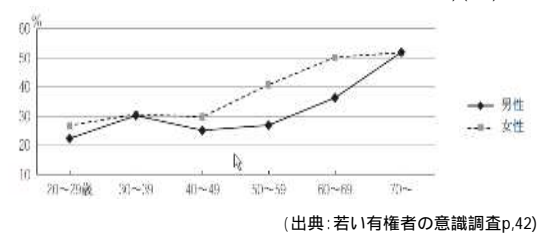
問題2：政党・政策の違いがわからない

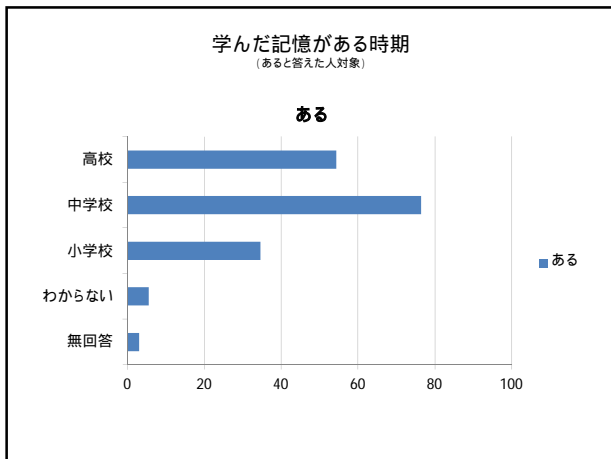
年代別棄権理由(上位4つ)



問題3：選挙権行使に対する義務的な感情の欠如

Q選挙での投票についてどれに近い考えをお持ちですか(「投票することは国民の義務である」と回答した人の割合)(%)





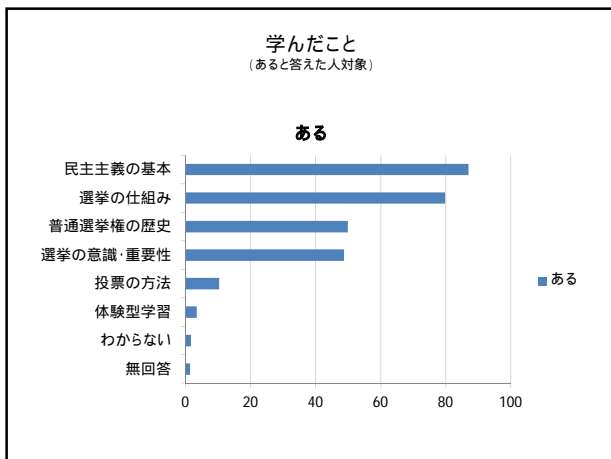
問題4:学校教育

Qあなたは高校までの学校の授業で、政治や選挙のことを学んだ記憶がありますか

ある74.0% ない23.8% 無回答2.2%

Q高校までの学校の授業で学びましたか(%)

国民主権などの民主主義の基本	73.0
選挙区制などの選挙のしくみ	73.6
普通選挙権実現の歴史	47.5
選挙の意義と投票参加の重要性	34.6
投票所における投票の方法	14.3
模擬投票などの体験型学習	10.9
その他	0.7



教育現場における現状

神奈川県を取り組み ～模擬投票～

- 神奈川県で全国にさきがけて全県立高校で模擬投票を実施
- 模擬投票のメリット:「民主主義の体感」、「投票率や一票の質の向上へのきっかけ」
- 自分の考えに合う政党や候補者を選ぶ「プロセス」(情報を得て、比較し、決断し、実際に行動する)を学ぶ機会を提供することができる

NPO法人

～第三者機関の取り入れ～

NPO法人「地球村」 理念:「永続可能な社会」「非対立」

例) 25年参議院選挙の場合
・各政党の「TPP」「原発」「憲法改正」に対する立ち位置を表示
各政策の争点について表示

このように、その当時の選挙と政策、それに伴う立ち位置を明確にすることにより投票への意義を感じ、また投票時における判断能力を身に付けることが可能

海外の現状

ドイツ

- ・連邦政治教育センター
- シンポジウムイベントを開催
- ・学校教育に向けた情報提供、新しい政治教育材料の開発

アメリカ

- ・サタデー・ナイト・ライブ
- ・アメリカの教育... 議論の際の賛成・反対立場の明確化
- ・時事的なテーマを取り上げる
- ・時事問題の争点学習におけるマスメディアの協力

政策提言

- ・教育者の教育(海外の現状)
- ・低学年からの政治・選挙教育により、選挙権の行使することへの使命感を養う

教育者の教育

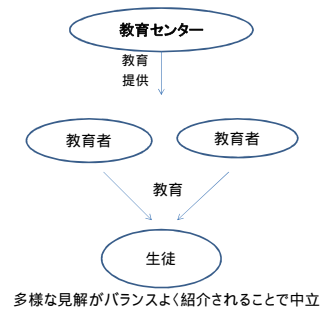
教育者の教育

ドイツ教育センター 各州に置かれている
注目点...学校の教員に向けた**情報提供、政治教育教材の開発**

↓
日本と違い、教育者にも政治教育を行っている！

しかし...教育者を教育する過程でもかたよりが生まれる??
個々の政策批判も含む**多様な見解**が政治教育という場で表明されている!
対立する見解がバランスよく紹介されることで全体的に中立される

教育者の教育 スキーム



低学年からの一貫した政治・選挙
教育により、選挙権を行使すること
への使命感を養う